



泉だより

IZUMI・DAYORI



2024.3.1 VOL.47

発行元



社会福祉法人 泉学園

Social welfare corporation IZUMIGAKUEN

〒702-8026 岡山市南区浦安本町190番地
TEL (086) 264-2882

発行人 岡崎 イツヨ



（巻頭言）「問題」と「課題」の狭間で思ひこむ

社会福祉法人 泉学園

統括責任者 村上 眞

この度の能登地方を震源とする地震により犠牲となられた方に謹んで
お悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様におかれましては、心
よりお見舞い申し上げます。そして被災地の一日も早い復旧・復興を心
よりお祈り申し上げます。

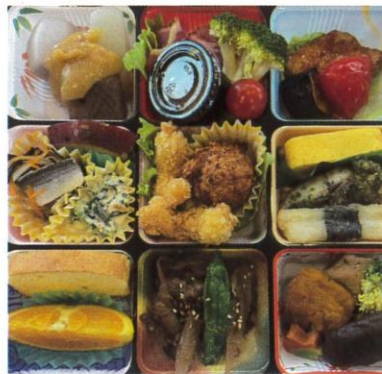
私事ながら基幹相談支援センターに赴任して丸三年が経過する中で、
個人や地域における様々な問題に触れる機会をいただいています。人は
人生の中で障害の有無を問わず問題に直面し、そのライフステージに応
じて周囲との関わりの中で対応がなされているものと思えます。福祉の
現場の中では、それが時として地域の問題として顕在化してくることも
あります。課題とはそれら問題の解決に向かって、意思をもって行動を
起こそうとすることとされています。では誰が地域の中でその意思をも
って課題に取り組むのか。課題への一歩は当事者を含めて地域が共通の
意識をもって設定されることが理想です。問題は希望と現実とのズレで
あり、課題は現状があるべき姿に近づけていくための具体的手立ての実
践とも言えるでしょう。

障害者差別解消法の改正により、令和六年四月から一般事業者にも合
理的配慮が義務化されます。地域社会では様々な場面で対応が求められ
ますが、まさに問題から課題に転換して建設的な対応が望まれるところ
です。そのためには障害のある方の理解促進・普及啓発、そして我々社
会福祉法人はじめてする事業者が提供するサービスに於いても、合理的
な配慮の下に確かなサービスが提供されているのかどうか今一度振り返っ
ていかなければならないと考えています。これまで泉学園の歴史に於い
ても累々と続いてきた支援ではありますが、そのプロセスにおける合理
的な配慮とは何か、何が求められてどう建設的に取り組んでいくか、そ
して個々の意思決定支援の下支えの中で、豊かな暮らしに向けた取組み
を模索し続けることが我々の責務だと感じています。

地域の諸問題に対し、泉学園は社会福祉法人として意思をもって取組
み、地域福祉の向上に寄与できるよう努力していく所存であります。引
き続き、地域をはじめ関係の皆様方と協働してまいりたいと思えます。
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

障がい者
デイセンター さくら

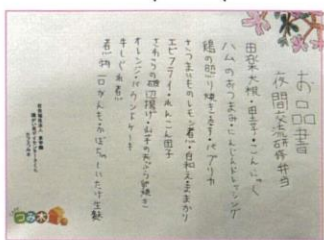
「つみ木」のお弁当を共同製作
しました
(カフェつみ木)



令和5年12月7日の第55回中国・四国社会就労センター協議会施設長会（岡山県大会）夜間交流研修に使用するお弁当を製作してみたと、岡山県セルプ協会長の藤原さんからお声かけをいただきました。

メニュー作りでは、共同製作をすることとなったトモニきずなさんと打ち合わせを数回行いました。まずは、お弁当の容器案を出し、その容器に合う内容をそれぞれで持ち寄り、意見を交わしながら最終的なメニュー内容を作っていました。

主催者からの要望で、岡山県セルプに加盟している事業所の食材や岡山県産のものを使って、岡山県



全体で研修参加者の方々をおもてなしできるようなメニュー構成にしていきました。

今までは豪華なお弁当作りの経験がなく、どのくらいの調理時間や盛付時間がかかるかわからず、どのような段取りで進めて行くかを打ち合わせしていききました。また、お弁当を食べられる方のことを考えながら自分たちの力量でできる最大限の内容を、関係するメンバーで試行錯誤を重ねていきました。

当日は調理と盛付に時間がかかり、予定の納品時間にギリギリ間に合い、冷や汗ものでした。ただ、参加者の方々から「箱のふたをあけた瞬間すごく豪華でびっくりした!!」「美味しい!!」と声をかけていただき、とても嬉しく感じました。一緒に会場にいたご利用者もそのお声を直接聞くことができ、嬉しく感じられたのではないかなと思います。

当日の会場は、岡山城天守閣を貸切で行われましたが、お弁当作



りに携わったご利用者の声を研修参加者に届けたいという思いから、実際にお弁当作りに携わったご利用者にも研修会に参加していただきました。会場ステージに上がり、お弁当製作に関するインタビューを受け、大人数の参加者の前で少し緊張されていましたが、しっかり受け答えをされていました。

今回、今までに経験したことのない規模でのお弁当製作でしたが、試行錯誤を繰り返しながら無事にお弁当事業が成功しました。もっとこうすれば良かったという反省点は多数ありますが、今回の経験から学んだことを次につなげることができたらと思います。

カフェつみ木では、お弁当の注文・配達を承っておりますので、お気軽にご連絡いただけます。

(熊代 徹)

カフェつみ木
086-261-7300



ワークショップちどり

久しぶりの「初詣と新年会」

ちどりでは、新年初日は初詣と新年会の恒例行事を楽しみます。ここ数年はコロナ禍において縮小を余儀なくされ近所の神社へのお参りにとどまっていた。しかし今年

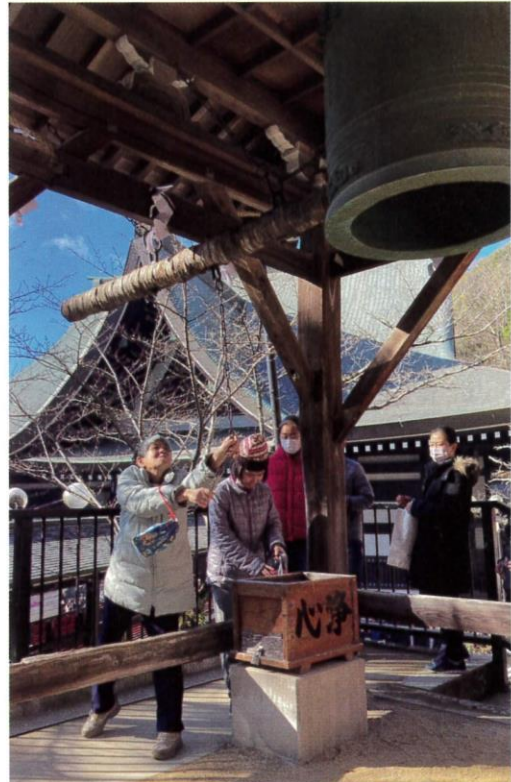
は4年振りに、最上稲荷への初詣を再開することが出来ました。到着後は、おみくじやお守りを選び、力を込めて鐘をつかれるなど晴れやかな表情で思い思いのお参りをされました。

新年会は、カフェつみ木にてお正月膳とデザートには白玉ぜんざい



いをいただき、大変豪華な内容に皆さん大興奮でお正月気分を満喫しました。「今年も作業を頑張るぞ」「おー」作業開始前に行う恒例の掛け声をポリウムマックスで、全員で唱和しました。明るく新年のスタートを切ることが出来ました。

(西山 利充)



ネイチャーファーム

『毎年、農業1年生』の期待と苦悩の日々

「花のことなら、まずはネイチャーファームにご相談ください！」と意気込み、従業員と共に奮起奮闘してきた18年。

コロナ禍で需要と供給のバランスが崩れ、ウクライナ情勢で資材の流通が停滞したことによる生産中断、今夏の長引く酷暑による生育不良苗や害虫の大量発生等、どんなに労や策を尽くしても太刀打ちできない自然や世情を相手に気がと自信を失いかける度に、「農業してたら毎年1年生よ!」とベテラン生産者に言われた言葉が去来します。

それでも何とか作業運営、収益共に維持し続けられたのは、どんな過酷な環境下でも明るく元気に取り組んでくれる従業員、その様子を見て好意的に接してくださる地域の方々、ネイチャーファーム



の苗の品質を信頼して下さっているお客様に励まされてきたからです。

年間、花苗18万株と夏野菜苗約5千株を栽培している現在、岡山市、公園協会、社協、セルプ協等の機関にお問い合わせいただく、まず当事業所をご紹介いただければいいなりました。おかげさまで公共関連のお客様も年々増え、中でも小学校については市内約90校の半数以上に利用していただいております。他にも公共事業への参加、除草や清掃作業、七夕用の笹竹、ベルばら(漫画)に出てるようなバラアーチの調達のご依頼までも。



：かもしれない。でもそのご縁を信頼と安心感へとどう繋ぎ続けていくか、お客様のコスパやニーズに応じた苗の種類や花色選び、植栽方法やレイアウト、管理の仕方等の提案といったプラスαのサービス、何よりお客様の期待を裏切らないよう、苗の品質にこだわり育て続けること、これからの従業員と叱咤激励し合いながらの「農業1年生」の期待と苦悩の日々は続きます。



(中島 理恵)

桑野フレンドリーハウス 桑野ワークプラザ

『バザー』についての報告

これまで新型コロナウイルス感染症の影響で様々な行事や活動が制限されてきましたが、感染症の影響が緩和されたことで今年度はバザーに



出展する機会を増やすことができました。フレンドリーハウスではこれまで継続して制作してきたビーズアクセサリー等の手芸品に加えて、今年度は新商品の作成に取り組み、動物や車などの様々なデザインのポシエットやポーチ、



帽子を新しく製作しました。日中活動の中でご利用者の方々が布の切り取りやボンドによる貼り付けを行い、日々やりがいを持って楽しく取り組まれています。

地域のふれあい祭りでは地域住民の方も楽しみにして来てくださり、多くのお客様が足を止めて商品を手にとって「可愛い」とお褒めの言葉を頂くことができました。ワークプラザでも新しい商品のシフォンケーキが大好評でした。日頃頑張った作ったものを喜んでもらえることは嬉しく、「作って良かった」と思えました。

今後ともこれまで製作してきた製品や商品の良さを継承しつつ、より良いものを提供できるようにご利用者と職員一同で取り組んでいきたいと思えます。(坪本 駿)

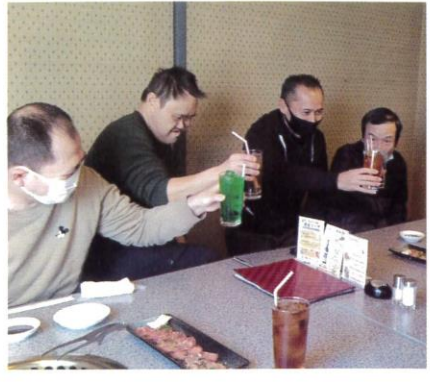
泉学園共同生活援助事業所

『クリスマス忘年会&新年会』

コロナウイルス感染症の影響で実施できていなかったクリスマス忘年会と新年会を3年ぶりに開催致しました。ホーム毎に計画し、皆でリビングに集まって豪華な料理を堪能したり、お店を予約して

賑やかな外食やカラオケをしたりと皆さん大盛り上がりとの会となりました。「〇〇が美味しかった! また食べたい!」や「来年度もやりたい!」との声も多数出ており、以前のような明るく楽しい年越しを今後も迎えていければと思っています。

今年も皆さん健康な一年でありますように。(荒木 健次)



令和4年度 共同募金配分の御礼

..... 車輛整備

昨年未、なす赤磐では共同募金の配分交付を受け、車いすスロープ車を整備させていただきました。一度に10名以上の方の送迎を行う毎日、時に何度も出ることがあります。車椅子の方々にとって、車はなくてはならない足であり、社会との繋がりを広げてくれる大切なものなのです。



今回、1台増えたことにより、その機会はもっと広がりそうです。送迎はもとより、外出や買い物に大いに活用させていただきます。

ありがとうございます。
(小林 三重子)

助成金の御礼 (泉の園)

..... 一日社会体験旅行

今年度も公益信託梶谷福祉基金の助成金を頂き、12月1日と14日にダイヤモンド瀬戸内マリンホテルに一日社会体験旅行に行きました。

新型コロナが5類となり、久しぶりにみんなで出かけをする事ができました。懐石ご膳を食べた後はお土産を買ひ、それぞれに楽しい時間を過ごす事ができました。ご支援を賜りました関係者の皆様方、本当にありがとうございます。
(合田 正人)



一日社会体験旅行



イオン様からのXmasプレゼント

12月18日、今年もイオンモールの岡山様よりデザートーナすなにクリスマスプレゼントが届きました。



12月22日にはマックスバリュー西日本株式会社様より、桑野ワークプラザ・桑野フレンドリーハウス・デイセンターさくらへクリスマスプレゼントが届きました。

同日、イオンスタイル岡山青江店様より泉の園へクリスマスプレゼントが届きました。



桑野



泉の園



さくら



頂いたプレゼント(ケーキ・お菓子等)のおかげで各事業所のクリスマス会がとても盛り上がり、思い出に残る素敵な一日となりました。
この度は素敵なプレゼントをありがとうございます。

新任職員の紹介

よろしく
お願ひします！
頑張ります。



泉の園 生活支援員
きくやま りょう
菊山 凌
(R5 1月1日)

心地よい環境作りと、人と人との触れ合いを大切にし一生懸命頑張りま



泉学園 共同生活援助
事業所 事務員
横山 千尋
(R5 9月1日)

精一杯励みます。よろしくお願ひします。



ネイチャーファーム
もりがみ かおり
森上 香織
(R5 7月1日)

日々のご縁に感謝して笑顔で頑張り



桑野フレンドリーハウス
いまむら えりか
今村 恵里伽
(R5 8月7日)

皆さんのお力になれるように頑張り



桑野ワークプラザ
職業指導員
こまき ひろしげ
小槇 宏茂
(R5 8月1日)

皆さんと楽しく過ごせるように頑張り



デイセンターなすな
赤磐 生活支援員
かがわ たけのり
香川 武義
(R5 9月1日)

頑張ります。



デイセンターなすな
赤磐 調理員
おおたき えみ
大瀧 恵美
(R5 10月26日)

おいしい料理を作ります。



ワークショップセンター
生活支援員
もり まさき
森 成樹
(R5 7月1日)

福祉の仕事は初めての経験で、学びの毎日です。ご利用者と向き合う事で、お互いに高め合っています。



障がい事イセンターさくら
おかだ まなみ
岡田 眞奈美
(R5 9月1日)

早く仕事を覚えるため、日々努力していきたく思います。



障がい事イセンターさくら
おいかわ ひろみ
及川 洋美
(R5 9月1日)

デイセンターさくらにパートとして入社しました。よろしくお願ひします。

